

ウェルウォーク通信

～施設間連携と武蔵ヶ丘病院の取り組み～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。今回は武蔵ヶ丘病院様からの紹介です。熊本機能病院様との施設間連携、武蔵ヶ丘病院様のこれまでの取り組みについて共有を致します。

武蔵ヶ丘病院（熊本県熊本市）



【施設の特徴】

- ・熊本県熊本市北区にある地域密着型のケアミックス病院
- ・救急、リハビリ、在宅医療の三本柱で地域医療に貢献します。
- ・2019年7月 WW-1000を導入

【基本情報】

病床数 145床（回リハ60床、一般45床、包括40床）
脳血管疾患患者 約4割（回リハ）
ウェルウォーク操作可能スタッフ 16名



熊本機能病院（熊本県熊本市）



【施設の特徴】

- ・熊本市北区にあるケアミックス病院
- ・老健、メディカルフィットネス施設を併設し、地域住民の予防から生活期まで幅広いニーズに応えられるよう取り組んでいます。
- ・2019年7月 WW-1000を導入
- ・2023年2月 WW-2000に更新

【基本情報】

病床数 395床（回リハ131床）
脳血管疾患患者 約4割（回リハ）
ウェルウォーク使用患者 118名

取り組み内容の紹介

交流会、症例検討（1回/月）

- ・参加者：理学療法士、医師
- ・お互いの病院を行き来し、施設紹介や特殊機器の体験会などを実施。
- ・ウェルウォークの訓練動画、平地歩行訓練の動画を見ながらウェルウォークの設定やその他訓練内容等の検討を行っています。

今後の予定

- ・交流会や症例検討を通じて、ウェルウォークやPT以外にも交流を深めることができれば良いと考えています。



交流会での集合写真（医師、療法士）



症例検討の様子

武蔵ヶ丘病院：松浦先生からのコメント

熊本県ではウェルウォークの導入施設は当院と熊本機能病院の2施設のみとなっております。同一地域の施設であるため、交流を兼ねて臨床推論等、連携を図ることができれば良いと思い、新たなリハ医の赴任をきっかけに交流会を開始しました。症例検討では、ウェルウォークや歩行訓練についてざっくばらんにそれぞれ意見を出し合っています。

トヨタ自動車の臨床チームは、施設間の連携を支援いたします。
直接お話を聞いてみたい施設などがございましたら、可能な範囲で対応しますので相談下さい。

武蔵ヶ丘病院の紹介

■ 当院リハビリテーション部の特色

『確かな臨床力と研究力を身につけ、リハビリテーションを必要とする方々の人生の質の向上に貢献します』という理念のもと、医療サービスの提供、および研究分野に関しても力を入れて取り組んでいます。また、当院ではウェルウォークやパスリーダー、mediVR KAGURAなど先進医療機器の導入を積極的に行っています。



■ 当院のリハビリテーション医

当院には、藤田医科大学にてリハビリテーション医として経験を積んだ医師が3名、常勤医として在籍しております。リハビリテーション医師が療法士をはじめとするコメディカル職員を先導し、最適な医療サービスの提供と円滑な退院支援を進めております。



たなか しんいちろう
田中 慎一郎 医療法人田中会副理事長
MCRCセンター長
東京医科大学医学科出身（平成21年卒）
認定資格
・日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医
・日本スポーツ協会スポーツドクター
・障がい者スポーツドクター



ほそかわ ひろし
細川 浩 リハビリテーション科医長
地域連携室 室長
関西医科大学医学部出身（平成17年卒）
認定資格
・日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医・指導医
・日本整形外科学会整形外科専門医・脊椎脊髄病医
・厚生労働省 麻酔標榜医
・日本骨粗鬆症学会認定医
・日本DMAT隊員(統括DMAT)



せんじゅ ゆうき
千手 佑樹
山口大学医学部医学科出身（平成26年卒）
認定資格
・日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医
・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

■ 当院の取り組み

当院では、令和3年10月より、質の高い臨床経験や知識の習得の為、藤田医科大学病院への国内留学制度を開始しました。藤田医科大学の研修を終えた職員は、リハビリテーションの中核として、質の高いリハビリテーションの提供および自己研鑽に励んでもらっています。



第1期



第2期



第3期

現在、3名の療法士が藤田医科大学病院の研修を終え、院内で活躍しています。